

生活支援コーディネーター (SC) (地域支え合い推進員)

みんなで考え、共につくる
地域の支え合いの仕組み

生活支援コーディネーターは、地域の困りごとを把握して社会資源といわれる制度や人へつなぎます。社会資源を充実させるためネットワークを広げたり、不足する社会資源がある場合には創出に向け地域のみなでつくる役割があります。

つなぐ ひろげる つくる



資源開発

地域に不足する生活支援サービスの創出
生活支援の担い手の養成と組織化

ネットワークの構築

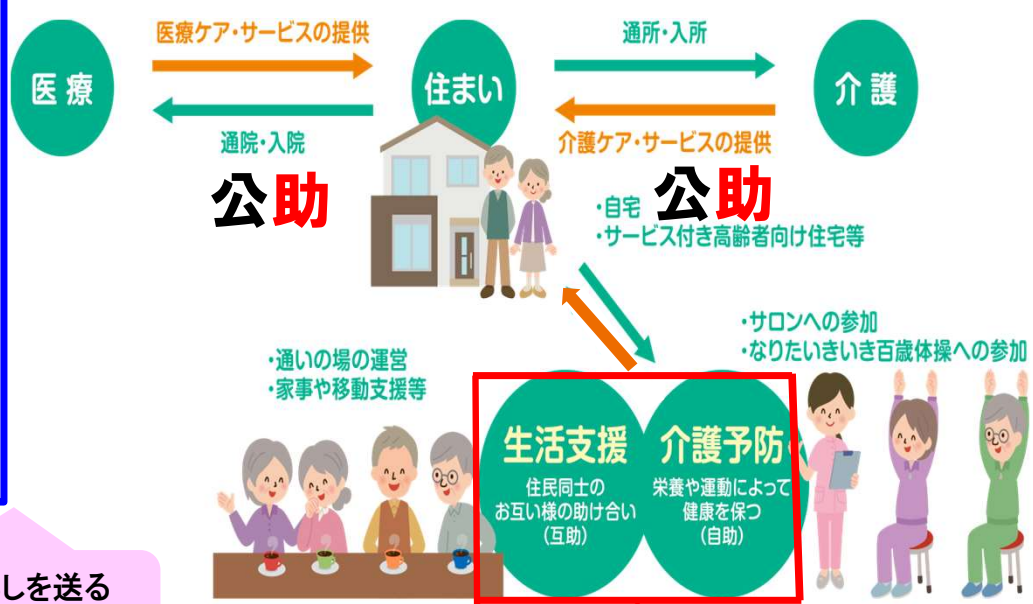
関係機関との情報共有

お互いの強みを生かした連携協働の体制づくり

地域包括ケアシステム

重度な要介護状態や認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるように！

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、市が中心となり、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体的に連携して提供できる体制



その人らしい豊かな暮らしを送るためさまざまな助の組み合わせ

互助・自助

(生活支援体制整備)

生活支援

介護予防

ご近所(助)力

見守り

居場所



ゴミ出し
片付け・掃除
買い物・通院等

仲間づくり
健康づくり
生きがいづくり等



(背景) 少子化・高齢化を背景とした深刻な担い手不足

ホームヘルパーなどの専門職のみに頼る支援だけではなく、地域住民のボランティア活動や各種団体による社会貢献活動などの多様な支え合い・助け合い活動を推進していきます。

生活支援コーディネーターの活動

生活支援コーディネーターは、『**支え合い推進員**』とも呼ばれ、**住民の方と一緒に、地域の支え合いを広げる活動**を行っています。

社会資源の把握



困りごとに関する、
サービスの情報の整理

生活支援・ニーズの把握・共有 サービスのマッチング



聞き取り
アンケート調査など

話し合いの場づくり (協議体)



地域の方との
話し合いの場づくり

担い手の育成・発掘



ボランティア講座
担い手養成講座開催

困りごとに対する情報提供 ネットワークづくり



既存の地域資源・サービス、
新たに開発した地域資源
の情報提供

暮らしの不便さや困りごとだけでなく、地域の魅力など何でも教えてください！



市内全域担当

成田市社会福祉協議会

**(成田市保健福祉館内
赤坂1-3-1)**

☎27-7755